

No. 34

たかの博幸



連絡先/大分市田尻南2丁目3-17  
TEL 586-1156 FAX 586-1186

市政れぽーと

朗報

昨年(平成23年)の第2回定例会で質問した、太陽光発電設備設置補助事業が24年度からスタートします。事業内容は以下の通りです。

1. 受付開始

平成24年5月1日(火)

ただし、平成24年4月1日以降着工分

2. 補助対象者

自身が居住する住宅に太陽光発電設備を設置する個人

3. 補助対象経費

太陽光発電設備及びその設置に要する経費

4. 補助金額

1Kwあたり3万円、上限10万円

5. 予算額

6,000万円

6. その他

受付は先着順。予算の範囲内で補助します。



たかの質問

《学校給食の残さについて》

1. 現状と推移について
2. 処理方法について
3. 食べ残しを減らす取り組みについて



教育監答弁

1. 平成22年度、児童生徒の食べ残しが185.9トン、調理作業で発生した野菜くず等が116.3トンで合計302.2トン。20年度は、食べ残しが212.7トン、野菜くず等が119.9トンで合計332.6トン。21年度は食べ残しが196.4トン、野菜くず等が132.8トンで合計329.2トンとなっており、年々減少の傾向です。
2. 単独調理場の残さは全て焼却処理している。また、共同調理場では、95.1トンは養豚業者への飼料提供しており、残る55.4トンは焼却処理している。今後は養豚業者等に譲渡しているものを除く、全ての給食残さについて24年度の早い時期から飼料や肥料等の資源化を行う方向で協議を行っている。
3. 「給食献立の工夫」、「磁器食器の導入」、「食育」に関する取り組みを行っている。

たかの走る

1月

- 6日 植田地区新年祝賀互礼会
- 7日 高教組旗開き
- 8日 大分市消防出初式
- 10日 農業委員会植田・野津原地区審議会
- 11日 農業委員会農地部会  
あなたの町の郵便局月例会(ポウリング)
- 13日 議会活性化推進会議
- 16日 市議会総合交通対策特別委員会  
市議会総務常任委員会
- 23日 農業委員会植田現地調査
- 27日 議会活性化推進会議
- 29日 大分県建設合同労働組合定期大会

2月

- 3日 議会活性化推進会議

3月

- 2日 植田南中学校卒業式  
議会活性化推進会議

たかの質問

《自然エネルギー政策について》

1. 導入状況について
2. 今後の取り組みについて
3. 新しい産業と雇用の創出につながると思うが見解を



環境部長答弁

1. 23年度は大道小学校、坂ノ市小学校、滝尾中学校に太陽光発電設備を設置するなど、これまで合計18の市有施設に太陽光発電設備を設置した。
2. 24年度には、新たに住宅用太陽光発電設備を設置する市民の皆様を対象に、助成制度を創設し、自然エネルギーの利用促進の強化を図っている。今後とも、利用促進に努めたい。

商工農政部長答弁

3. 国の「新成長戦略」にもありますように、地球温暖化や少子高齢化など、わが国を取り巻く重要課題への処方箋を示すことが、社会変革と新たな価値をはぐくみ、結果として雇用を創り出すことにつながるとの観点から、新たな産業の振興と雇用機会の創出につながるものと、大いに期待している。

【編集後記】

先日、長男の入学式(大学)で山口県に行った。まさか知り合いもいないだろうと思っていたら、なんと知り合いと久しぶりの再会。相手もそう思ったそうだ・・・

## 絆

きずな

発行元・大分市議会社会民主クラブ

住所・大分市荷揚町2番31号

## 3月議会

3月5日～26日まで2012年度3月議会が行われました。

## 予算

## 2012年度予算決まる・1744億7000万円（一般会計）

~~~~ 過去最大規模の予算 ~~~~~

これまでの一般会計は1500億円前後でしたが、今回はホルトホール大分整備事業債（借金）61億円などの計上があり、過去最大規模の予算となりました。

## 【主な新規事業】

## ◎市小児夜間急患センター運営支援・・・3580万円

成人病検診センター内に、今年4月より夜間の小児救急センターを設置します。

## ◎全市一斉防災訓練・・・1000万円

自治会や複数箇所での会場で、避難訓練や消火訓練などを行います。

## ◎太陽光発電設備設置補助・・・6000万円

太陽光発電設備を設置する市民に1基10万円を限度に助成します。

## ◎大友氏館跡整備基本構想策定・・・457万円

一部が国指定史跡の大友氏館跡の今後の整備の基本構想を策定します。

## ◎市教育センター整備・・・250万円（市社会福祉センター改修の設計委託費）

教職員の研修、研究、調査、教育相談等の機能を備えたセンターを設置します。

## ◎住民参加型市場公募地方債・・・690万円（地方債発行予定2012年11月）

ホルトホール整備事業債の一部を、住民参加型の地方債として資金調達します。

## 一般議案

## ◎まちづくり自治基本条例の制定

市民・議会・行政が一緒にまちづくりを進めるための基本的なルールと言える条例を制定しました。この中では、基本理念、原則をはじめ、市民の権利と責務、議会・行政それぞれの役割と責務、情報公開や住民投票等の規定があります。



新大分駅上野の森口

## ◎資源ゴミの持ち去り禁止条例（廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例）

ゴミステーションに出された資源ゴミを委託業者以外の者が持ち去った場合は20万円以下の罰金を科します。（2012年7月より）

## ◎文化会館の廃止の条例（2013年11月1日付け）

ホルトホール大分が2013年7月に開館することから、同様なホールのある老朽化した文化会館をその後の11月に廃止することになります。



文化会館

## ◎国保税の引き上げ

国保財政は赤字が続いており、2006年より2年ごとに国保税の見直しをしてきました。今回今後2年間の予想される赤字を解消する分の値上げとしました。所得等で違いますが、1人平均年額2967円の値上げです。

## ◎介護保険料の引き上げ

法に規定された3年ごとの保険料の見直しで、高齢化による給付費の増加もあり、今回は保険料の段階の細分化と、保険料の値上げをしました。1人基準月額1182円の値上げです。

会派として・・・経済が厳しい時、2つの保険の値上げは、市民に大変厳しいものと受け止めています。制度を守るため、所得の低い世帯へ配慮を条件に苦渋の選択をしました。

## ◎土地開発公社の解散

公社での用地の先行取得の意義が薄れ、収入源の要町駐車場が駅周辺の工事で使えなくなることから、38億円の債務（借金）を解消し、公社を解散します。

## 意見書

次の意見書が採択され、関係機関へ送付されました。

## ◎父子家庭支援策の拡充を求める意見書

(母子家庭と同様に父子家庭への支援策の拡充を求める内容です。)

## ◎大震災からの復旧復興に向けた災害廃棄物の広域処理を求める意見書

(放射線測定体制や法的整備を国に求めるという内容です。)

## 議員定数を44名に ～～ 議員で決定 ～～

市民意見交換会で課題になっていた議員定数を議会で決めるため、シンポジウムを開き、議会活性化推進会議で36回に渡り議論を重ね、44名か42名とし、次に議会運営委員会で議論し、多数決の結果44名としました。それを本会議で議員提案し44名に最終決定しました。定数は減らすとしても、市の面積と人口を考慮し、市議会と市長の二元代表制の機能を維持するのに適当な人数という観点で議論しました。



市民意見交換会

※議会活性化推進会議・・・議会活性化のための改革や取り組みについて、会派の代表で組織する会議です。我が会派からは、高野議員が副会長、宮邊議員が委員として、日小田議員は副議長として出ています。

**会派議員から** 「議会基本条例」「子ども条例」に続き、大分市議会議員政策研究会の第三弾として「災害対策」を政策課題にし、昨年12月から各会派代表11名による協議をしてきました。3月26日の議員全体会では、政策提言の基本方針を確認し、今後は今年中の市長への政策提言等作成に向け、市民・関係団体との意見交換会を行うとともに、被災地や先進地の調査研究を進めていきます。(文責・帆秋議員)

※政策研究推進チーム会・・・議会で提案しようとする条例や政策課題を専門的に研究する会です。

会派からは、篠田議員が副座長、帆秋議員が委員になっています。